



2013年12月2日

各 位

会 社 名 富士製薬工業株式会社
代 表 者 代表取締役社長 今井 博文
(コード番号 4554 東証第一部)
問 合 せ 先 経営企画部 入山 真由美
(TEL. 03-3556-3344)

非イオン性造影剤「オプチレイ®注」の販売移管に伴う新組織設置のお知らせ

富士製薬工業株式会社（以下、「当社」）は、2013年10月15日付プレスリリース「非イオン性造影剤「オプチレイ®注」の販売移管のお知らせ」に記載の通り、12月1日より同製品の販売を開始いたしました。これに伴いマーケティング本部マーケティング企画部内に12月1日付で「画像診断薬グループ」を新設しましたのでお知らせいたします。

当社は、「GOOD TO GREAT」を中期経営計画のテーマとし、重点課題として「2015年 - 設立50年までに、既存コア事業の拡大と、次の時代につなぐ新規事業機会の具体化を実現すること」を掲げ取り組んでおります。今回の「オプチレイ®注」（イオベルソール注射液）の販売移管は、こうした取り組みの一環として行うものです。

また、従来から販売している非イオン性造影剤「オイパロミン®注」（イオパミドール注射液）並びに「イオパーク®注」（イオヘキソール注射液）に「オプチレイ®注」が加わることにより、造影剤市場における当社のプレゼンスを向上させ、当社の強みである注射剤を中心とした急性期医療分野においてより事業価値を向上させる事が可能となります。

今回、これらの製品を取扱う「画像診断薬グループ」を新設し、製造販売元であるマリクロットジャパン株式会社（以下、「マリクロット」）で活躍された方15名を迎え入れ、これまでマリクロットで「オプチレイ®注」の販売を通じて培ってきたノウハウ、情報、取組等を引継ぐとともに、情報提供の充実、販売力の強化を図り、医療現場への貢献をさらに高めていくことを考えています。

なお、本件の当期（2014年9月期）売上高は18億円を見込んでおり、11月14日に当社が公表している2014年9月期連結業績予想に織り込んでいます。

以上